がんとリハビリ? ~がんになっても動ける身体を~

上野 順也

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科



がんとともに



がん患者さんの心の動き

告知を受けた時

「頭の中が真っ白になりました。」

「まさか自分が、がんになると思っていなかった。」

「どうやって家に帰ったか覚えていません。」

「なぜ?どうして?」

「がんか、もうダメかもしれない。」

「なにもやる気が起こらなくなりました。」・・・



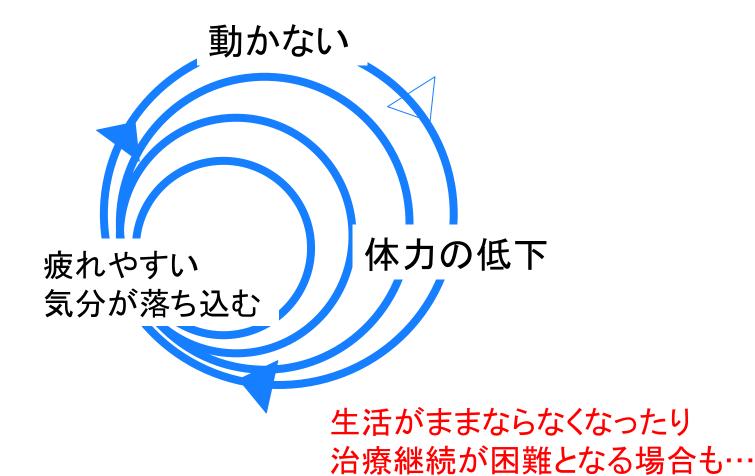
がん患者さんの身体活動量

- 治療中の活動量は診断前の10%程度である
- 治療後の活動量も診断前の20-30%程度までしか回復しない

Exercise motivation and behavior change. (Courneya et al, 2007)



負のスパイラル





身体活動量と予後

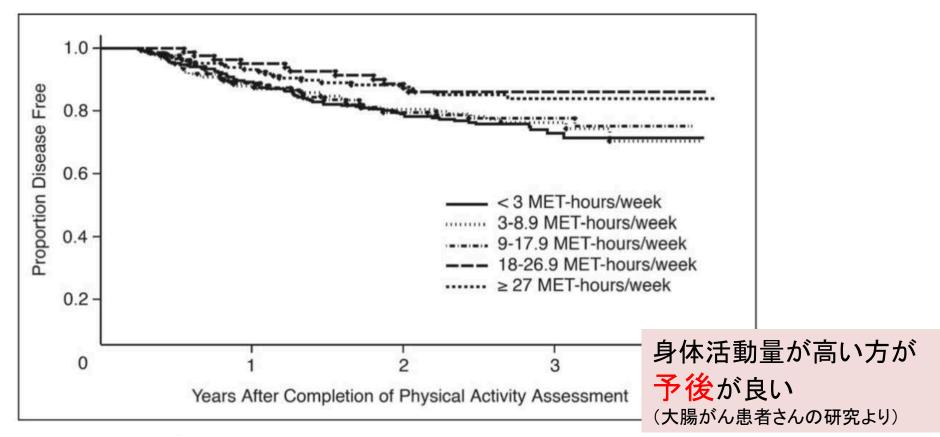
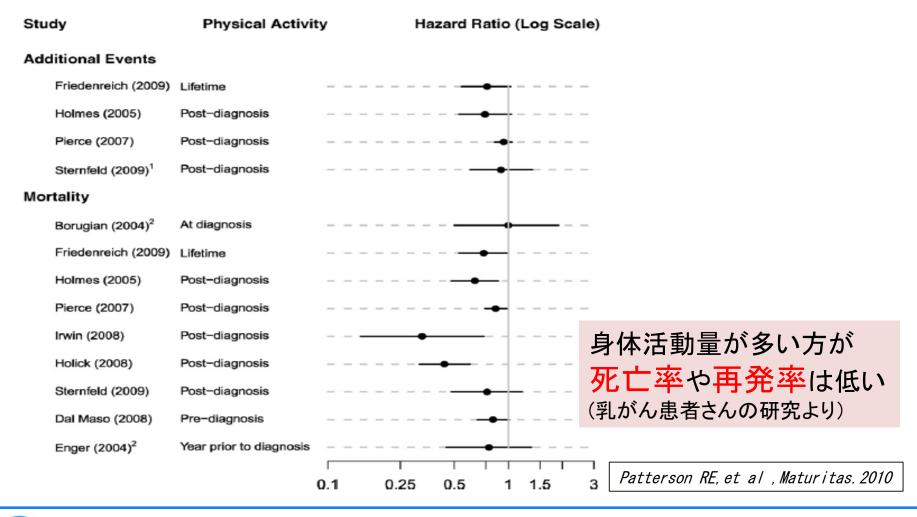


Fig 2. Disease-free survival based on second questionnaire. MET, metabolic equivalent task.

Jeffrey A. Meyerhardtet al. Jurnal of clinical oncology2006



身体活動量とがん再発率





National Cancer Center Hospital East: All Activities for Cancer Patients.

がんのリハビリテーション

- がんとその治療による制限を受けた中で、患者さんに 最大限の身体的、社会的、心理的、職業的活動を実現 させること
- がん患者さんのQOL(生活の質)の改善を目的とする 医療的ケア

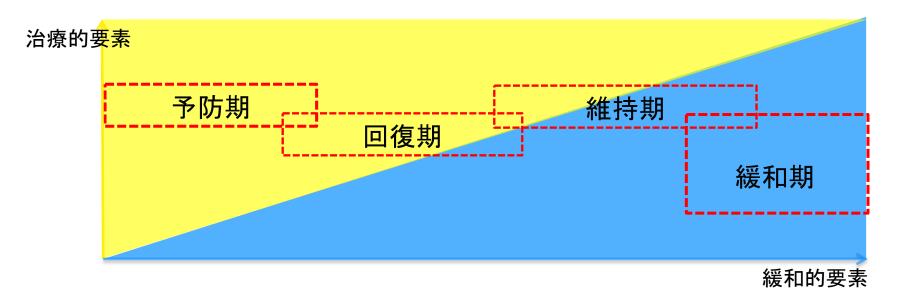
Fialka-moser V. et al, J Rehabil Med 2003



がんリハビリテーションアプローチの実際

-Classification of Dietz-

がんのリハビリでは、がん治療の状況を4つの段階にわけ、 目標設定やかかわり方を変えて対応します。



Dietz JH: Rehabilitation Oncology. John Wiley & Sons, New York, 1981



対象となる障害

一主に治療の過程においてもたらされる障害一

- 1) 全身性の機能低下、廃用症候群 化学・放射線療法、造血幹(ぞうけつかん)細胞移植後
- 2) 手術

飲み込みや発声の障害 肩や手足の運動障害 肺炎の予防

- 3) 化学療法手足のしびれ
- 4) 放射線療法

飲み込みの障害・関節が硬くなる障害



対象となる障害一がんそのものによる障害一

1) がんの直接的影響

骨転移

脳腫瘍(脳転移)にともなう片麻痺、失語症など 脊髄・脊椎腫瘍(転移)にともなう手足の麻痺など 腫瘍の直接浸潤による神経障害など 疼痛

2) がんの間接的影響(遠隔効果)

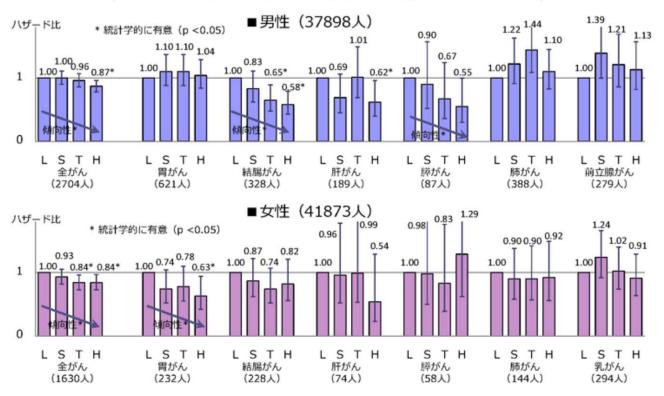
がん性末梢神経炎

悪性腫瘍随伴症候群(バランス機能障害や、筋力低下など)



がんになりにくい体を

図. 1日の身体活動量(METs)とがん罹患との関連(79771人を約7.5年追跡、追跡期間中のがん罹患4334人)



L:最小群、S:第2群、T:第3群、H:最大群 (METs中央値:男L:25.45, S:31.85, T:34.25, H:42.65) 女L:26.10, S:31.85, T:34.25, H:42.65)

国立がん研究センター 社会と健康研究センター予防研究グループ



がん患者さんのための身体活動基準

- 週に150分間の運動(中強度)を目標にする!
 - 1日20-30分のウォーキングを行いましょう。
- 週に2日は筋カトレーニングを行う!!
 - 筋肉を使う動作や運動を取り入れましょう。
- 動く習慣を身につけましょう!!!
 - 動かない生活から動く生活に変えましょう。

American Cancer Society guidelines on nutrition and physical activity for cancer prevention





運動と強度

中強度運動	高強度運動
散歩、サイクリング、ヨガ、 ダンス	ジョギング、水泳、縄とび、ウェイト トレーニング、 エアロビクス
スキー、ゴルフ、バレーボール、ソフト ボール、野球、 バドミントン、ダブルステニス	サッカー、シングルテニス、 クロスカントリースキー、 バスケットボール
家事、芝刈り、庭仕事	土を掘る、荷物を持ち上げる、石 積み、ペンキ塗り
軽作業の仕事	重労働 (林業・建築業・消防士)

American Cancer Society Guidelines 2012



活動量の高い生活を

- 家事、子ども(孫)の世話
- 畑仕事、庭の手入れ
- 買い物、趣味活動 など…

- ウォーキング、サイクリング
- ラジオ体操、水泳
- テニス、ゴルフ、ダンス など…

- 地域のボランティア活動
- サークル活動
- 旅行 など…

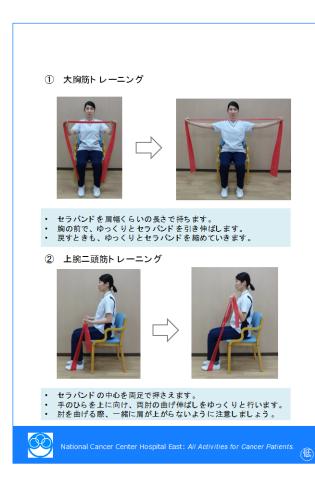
身体活動量

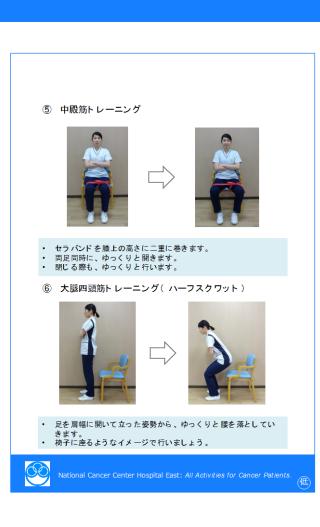


ストレッチ・筋 カトレーニング

自宅でできる! 簡単な体操メニュー ● 上肢のストレッチ 息を吸いながら腕を挙げていき、息を吐きながら下ろします 合計10回行います ● 下肢のストレッチ • 片方の足を伸ばして、息を吐きながら、つま先を触るように体 を前傾させていきます 片足ずつ、各5回行います

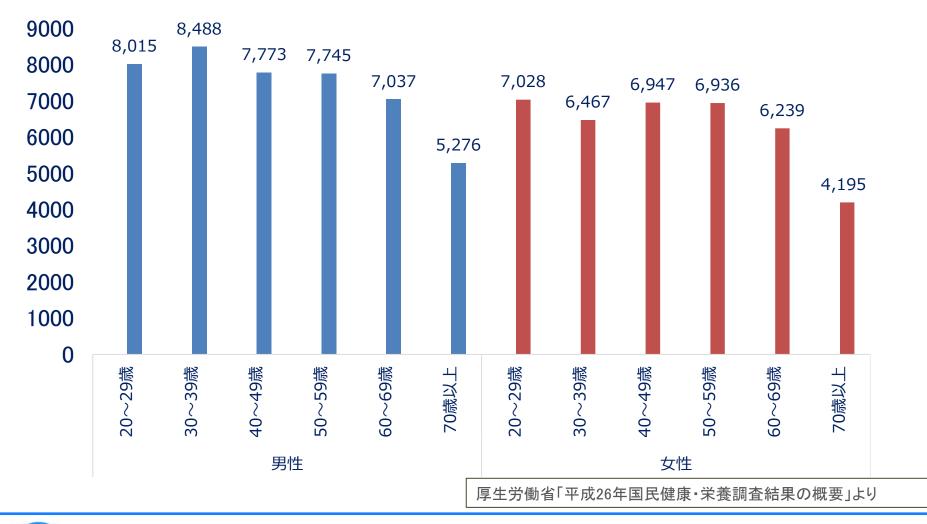
National Cancer Center Hospital East: All Activities for Cancer Patients.







日本人の平均歩数



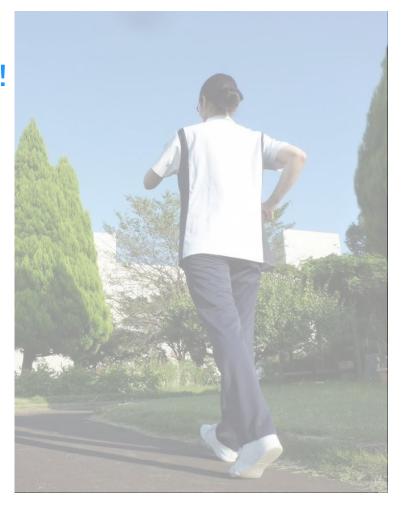


National Cancer Center Hospital East: All Activities for Cancer Patients.

有酸素運動(ウォーキング)

- ●生活の中で簡単に行える運動です!
 - **歩く**ことは運動の基本です。
- ●30分を目安に歩きましょう!!
 - 午前と午後、1日2回歩く機会をつくるとより効果的です。
 - 活き活きと歩く時間を15分は作りましょう。

- ●毎日の歩数を記録しましょう!!!
 - 5,000歩/日をひとつの目標にしましょう。





おわりに

- がんになると動きたくなくなることもしばしばあります。
- ●身体活動量を高めることは、がん患者さんの治療を支えることにつながります。
- がんになっても動く、がんにならないように動く。

身体活動量を高く保つことは、人生を豊かにしていく上で とても重要なことです。



リハビリは懸命に生きる患者さんを 支える仕事をしています…